

生徒講評文

8月 3日 5校目

長良 高等学校

My Name! ～The Importance of Being Earnest～ (既成・創作)

この劇は、英国貴族による優雅な恋愛物語であり、ジャックやアルジャーノンがついた嘘が原因で大混乱がおき、それを取り繕うために登場人物が右往左往する様子を描いた、典型的なヨーロッパ型コメディです。最後はミス・プリズムによってジャックの本名がアーネストであることが判明し、3組のカップルが結ばれる後味の良いハッピーエンドとなります。そこに至るまでのドラマが、高校生とは思えない演技力で見事に表され、客席からは終始笑いが絶えない楽しい舞台でした。

テーマは、「中身を変える」や「正直者には福がある」だという意見が出ました。副題のThe Importance of Being Earnestは「アーネストであることの大切さ」という意味ですが、earnestには「まじめな、熱心な」という意味があり、そこには、外見ではなく中身を変えることや正直に生きることの大切さが込められているように感じました。正直な思いを相手に伝えることで、分かってもらえたり心が通じ合ったりもすることから、自分の気持ちを素直に話すことは大切だと思いました。

音響・照明は、場面に合った音を使っており、場転で、暗転ではなく青の照明を残して見せる転換をしているのがとても効果的でした。

装置では、モノクロで木や家具などを表していてシンプルだけど印象的でとてもすばらしいと思いました。また、白を基調にすることでキャストの衣装などをより際立たせていたのがよかったです。ただ、イギリスの話なのに世界地図がロンドン中心ではなく日本中心だったのが気になりました。

長良高校の皆さん、お疲れさまでした。

大垣養老高校 上村玲未

